



H.Suga

## THE YASUDA KINEN

## 第75回 農林水産省賞典 安田記念 (GI)

1着 2着 3着 4着 5着  
本 賞180,000,000円 72,000,000円 45,000,000円 27,000,000円 18,000,000円  
付加賞 3,822,000円 1,092,000円 546,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 3歳54<sup>kg</sup>・4歳以上58<sup>kg</sup>、牝馬2<sup>kg</sup>減

2025.6.8 東京 曇・良 芝1600<sup>m</sup> (国産) (指定)

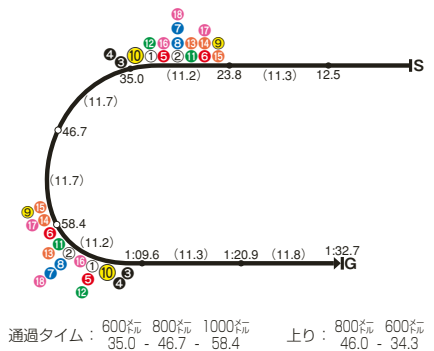
着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600 <sup>m</sup> )	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	ジャンタルマンタル	牡	4	58	川田将雅	1:32.7	3-3	34.2	498(-5)	4.3②	高野友和(栗東)	120
2	⑦	ガイアフォース	牡	6	58	吉村誠之助	1½	8-8	33.9	494(+12)	32.2⑨	杉山晴紀(栗東)	117
3	⑬	ソウルラッシュ	牡	7	58	浜中 俊	クビ	12-12	33.9	512(-)	3.3①	池江泰寿(栗東)	116
4	⑧	ブレイディヴェーグ	牝	5	56	戸崎圭太	クビ	8-8	34.1	470(-)	9.4④	宮田敬介(美浦)	111
5	④	ウインマーベル	牡	6	58	松山弘平	クビ	1-2	34.7	484(-)	38.3⑩	深山雅史(美浦)	114
6	⑨	シャンパンカラー	牡	5	58	内田博幸	½	17-17	33.6	514(+2)	73.9⑩	田中 剛(美浦)	113
7	⑧	エコロヴァルツ	牡	4	58	M.デム・ロ	クビ	8-8	34.2	492(±0)	18.8⑦	牧浦充徳(栗東)	113
8	⑪	サクラトゥージュール	騾	8	58	D.レーン	ハナ	12-12	34.0	508(-8)	72.1⑨	堀 宣行(美浦)	113
9	⑨	ウォーターリヒト	牡	4	58	菅原明良	クビ	14-15	33.9	466(-2)	13.0⑤	石橋 守(栗東)	112
10	③	マッドクール	牡	6	58	坂井瑠星	ハナ	2-1	34.9	544(+4)	35.4⑩	池添 学(栗東)	112
11	⑦	ジュンプロッサム	牡	6	58	武 豊	クビ	14-15	34.0	474(-8)	13.7⑥	友道康夫(栗東)	111
12	①	シックスペンス	牡	4	58	C.ルメール	クビ	4-4	34.7	504(+4)	4.4③	国枝 米(美浦)	111
13	⑫	ロングラン	騾	7	58	岩田康誠	2	4-4	35.1	476(-2)	87.8⑨	和田勇介(美浦)	107
14	②	ダティーズビビッド	牡	7	58	池添謙一	½	8-8	34.8	516(-2)	235.2⑩	千田輝彦(栗東)	106
15	⑤	レッドモンレーヴ	牡	6	58	M.ディー	クビ	6-4	35.2	524(±0)	59.0⑩	蛸名正義(美浦)	105
16	⑥	グラティアス	牡	7	58	横山和生	1	14-14	34.8	490(-4)	418.2⑩	安田翔伍(栗東)	103
17	⑬	トロヴァトーレ	牡	4	58	横山武史	ハナ	6-7	35.3	498(-10)	29.6⑧	鹿戸雄一(美浦)	103
18	⑬	ホウオウリアリティ	牡	7	58	丹内祐次	クビ	17-17	34.6	474(-10)	430.1⑩	井上智史(栗東)	103

単勝④430円(2<sup>kg</sup>) 複勝⑩180円(2<sup>kg</sup>) ⑦640円(8<sup>kg</sup>) ⑬140円(1<sup>kg</sup>) 枠連④-⑤3,250円(13<sup>kg</sup>)

馬連⑦-⑩9,560円(30<sup>kg</sup>) ワイド⑦-⑩2,200円(26<sup>kg</sup>) ⑩-⑬380円(1<sup>kg</sup>) ⑦-⑬1,730円(19<sup>kg</sup>)

馬単⑩-⑦13,540円(47<sup>kg</sup>) 3連複⑦-⑩-⑬10,250円(32<sup>kg</sup>) 3連単⑩-⑦-⑬65,970円(209<sup>kg</sup>)

5重勝⑤⑬⑥⑬⑩758,620円(724票) 対象競走：東京9R／阪神10R／東京10R／阪神11R／東京11R



通過タイム： 600<sup>m</sup> 800<sup>m</sup> 1000<sup>m</sup> 上り： 800<sup>m</sup> 600<sup>m</sup>  
35.0 - 46.7 - 58.4 46.0 - 34.3

### アラカルト

- ・川田将雅騎手はダノンキングリーで制した21年に続く安田記念4勝目で単独トップの勝利数。JRA重賞は本年4勝目、通算146勝目
- ・高野友和調教師は安田記念初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算29勝目
- ・Palace Malice産駒はJRA重賞通算5勝目
- ・4歳馬の勝利は22年ソングラインに続く通算15回目

# ジャンタルマンタル Jantar Mantar

牡 黒鹿毛 2021.3.21生  
北海道千歳市 社台ファーム生産  
馬主・宥社台レースホース 栗東・高野友和厩舎  
馬名意味・インドにある天体観測施設

インディアマントウアナUSA系 F9-e

Palace Malice 鹿毛 2010	Curlin 栗毛 2004	Smart Strike
		Sherriff's Deputy
インディアマントウアナUSA India Mantuana 黒鹿毛 2014	Palace Rumor 鹿毛 2003	Royal Anthem
		Whisperifyou dare
インディアマントウアナUSA India Mantuana 黒鹿毛 2014	Wilburn 鹿毛 2008	Bernardini
		Moonlight Sonata
	Speed Wagon 青毛 2003	Tomorrows Cat
		Rajica

5代までのインブリード：Mr.Prospector S4×M5

## INTERVIEW

上水司 場長 (山元トレーニングセンター)

### 腹を据えてこのレース1本に臨みました

昨秋が消化不良でしたので、腹を据えてこのレース1本に絞って臨みました。獣医師、装蹄師を含むスタッフ全員で知恵を絞り、高野調教師とも相談しながらうまく引き継ぎできました。中間はすこぶる順調でしたので、良いレースになると思っていました。スタッフ全員と喜びを分かち合えたことが嬉しかったです。川田騎手のガッツポーズもしびれました。

J.Fukuda



2歳時には無傷の3連勝を飾って朝日杯フューチュリティSに優勝、昨春のNHKマイルCも制し、世代のマイル王に君臨した本馬だが、暮れの香港マイルでは前哨戦を使えなかった誤算や落鉄などのアクシデントも響き、苦しい大敗(13着)を喫した。それでも態勢を立て直され、照準を1本に定めて臨んだ大舞台で本領を発揮。GI3勝目をマークし、世代のマイル王から日本を代表するトップマイラーへ躍進を遂げた。

2歳時には無傷の3連勝を飾って朝日杯フューチュリティSに優勝、昨春のNHKマイルCも制し、世代のマイル王に君臨した本馬だが、暮れの香港マイルでは前哨戦を使えなかった誤算や落鉄などのアクシデントも響き、苦しい大敗(13着)を喫した。それでも態勢を立て直され、照準を1本に定めて臨んだ大舞台で本領を発揮。GI3勝目をマークし、世代のマイル王から日本を代表するトップマイラーへ躍進を遂げた。

## 父バレスマリスUSA

アメリカ産 北米19戦7勝(ベルモントSG<sub>1</sub>、メトロポリタンHG<sub>1</sub>、ガルフストリームパークHG<sub>2</sub>、ニューオーリンズHG<sub>2</sub>、ジムダンディSG<sub>2</sub>、ウエストチエスターSG<sub>3</sub>、ジョッキークラブゴールドC<sub>1</sub>2着)、16年から米、日で供用〔代表産駒〕ジャンタルマンタル(本馬)、ストラクターUSA(BCジュベナイルターフ・米G<sub>1</sub>、ビルグリムS・米G<sub>3</sub>)、ミスターモノモイ Mr.Monomoy(リズンスターS・米G<sub>2</sub>)、ライクザキング Like the King(ジェフルビーS・米G<sub>3</sub>)、フライオンエンジェル Fly On Angel(チャールズタウンオークス・米G<sub>3</sub>)、ノーブルロジャーUSA(シンザン記念G<sub>III</sub>)

## 母インディアマントウアナUSA

北米27戦6勝(レッドカーベットH・米G<sub>3</sub>、ジンジャープリユース・米L2着、アリワウス・加3着、ウェイトアワイルS・米3着)、20年輸入

**ジャンタルマンタル** 本馬(21 牝父Palace Malice)持込 中央7戦5勝(安田記念G<sub>I</sub>、NHKマイルC<sub>G</sub><sub>I</sub>、朝日杯フューチュリティS<sub>G</sub><sub>I</sub>、デイレ杯2歳SG<sub>II</sub>、共同通信杯C<sub>III</sub>2着、皐月賞G<sub>I</sub>3着)、香1戦0勝 最優秀2歳牡馬 獲得資金504,350,000円

ウンナターシャ(23 牝父パイロUSA)Ⅲ

(24 牝父イスラボニータ)

(25 牝父バレスマリスUSA)

※20、22(流産)

## 祖母スピードワゴン Speed Wagon

アメリカ産 北米5勝(MTASTタリオンオークションラッシーS、レミントンパークBCオークス・L2着、ミネソタディスタフスプリントチャンピオンシップS2着、ノーザンライツデビュータントS3着)

ペナントフィーヴァー Pennant Fever(11 騾父Grand Slam)北米5勝 アブライドルアンドアプレイヤー Abridleandaprayer(13 騾父Songandaprayer)北米3勝

インディアマントウアナUSA(14 前出)

## 曾祖母ラジカ Rajica

アメリカ産 北米5勝(エヴァーグリーンS、クイーンシティオークス・L2着)

ラナウェイバビィ Runaway Babbie(95 牝父Runaway Groom)北米1勝、ラナウェイジュリー Runaway Julie(ローズデバルトロメモリアルS・米、ボビーブリッカーメモリアルH・米)、モンフォートレーン Montfort Lane(シンナチアンS・米2着)の母

スピードワゴン Speed Wagon(03 前出)

## 態勢を立て直されマイルの頂点へ

高松宮記念のサトノレーヴ、ヴィクトリアマイルのアスコリビチェーノをはじめ、今春の古馬GIでは海外遠征からの帰国初戦となった馬の好走が目立った。上半期のマイル王決定戦・安田記念も「帰国初戦」の馬たちが1、5着までを独占。とはいえ4月のドバイターフで香港の雄ロマンチックウオリアーを破り、1番人気の支持を集めた7歳の古豪ソウルラッシュは3着に敗れ、その前には対抗候補と目されていた4歳馬ジャンタルマンタルが立ちはなかった。

昨年の高松宮記念の覇者マッドクーが軽快に飛び出して先手を主張。3コーナーではこれにウインマーベルが

並びかけ、2頭が雁行してレースを引っ張る。ジャンタルマンタルの川田将雅騎手は直後の外で折り合いに専念、大阪杯(1番人気7着からの巻き返しを期待され、3番人気の支持を集めたシックスペンスは好位のインで脚を溜める。一方、序盤のダッシュが鈍かったソウルラッシュは中団馬群の後方寄りにつけ、末脚勝負に構えた。

迎えた直線、火花を散らす前の2頭を見定めながら仕掛けのタイミングをはかっていた川田騎手は、坂の上りから本格的にスパート。鋭く反応したジャンタルマンタルが残り200m地点で先頭に立ち、リードを開く。失速した先行勢にかわり、ソウルラッシュとガイアフオース、外からはブレイディヴェーグも追い込んだものの、最後までしっかりと伸びたジャンタルマンタルが横一線の2着争いを尻目に悠々とゴールを駆け抜けた。

2歳時には無傷の3連勝を飾って朝日杯フューチュリティSに優勝、昨春のNHKマイルCも制し、世代のマイル王に君臨した本馬だが、暮れの香港マイルでは前哨戦を使えなかった誤算や落鉄などのアクシデントも響き、苦しい大敗(13着)を喫した。それでも態勢を立て直され、照準を1本に定めて臨んだ大舞台で本領を発揮。GI3勝目をマークし、世代のマイル王から日本を代表するトップマイラーへ躍進を遂げた。